

講演会

「認知症 どう支えますか？ ～地域みんなで支えよう～」

認知症は、誰にも起こりうる脳の病気です。認知症への理解を深め、地域で支えるには、具体的にはどうしたらよいのでしょうか。

認知症を地域で支えるためにいろいろな地域で実践していることなどをお話しします。地域の一人として、小さなことから始めてみませんか。たくさんのご参加をお待ちしています。

日時 11月30日(土) 午前10時00分～正午

会場 友部公民館 3階大ホール

内容

- 1 認知症標語優秀作品表彰式
- 2 講演会「認知症 どう支えますか？
～地域みんなで支えよう～」



講師 ながた くみこ 永田久美子さん(認知症介護研究・研修東京センター研究部副部長)

*お申し込みは不要です。

当日、直接会場にお越しください。

【問合せ】 笠間市地域包括支援センター
高齢福祉課内(内線176)

議会改革活性化への取り組み

笠間市議会では、地方分権時代を迎え今後の笠間市議会運営のあり方が問われる中、「市民に開かれた議会」を目指し、平成25年第1回(3月)定例会において議会改革活性化特別委員会を設置しました。平成25年第3回(9月)定例会では、具体的な調査項目に基づいて協議し、中間報告をしました。

現在までに協議した内容のうち、特別委員会として結果の出た事案は、一般質問における「一問一答方式の導入」および、「傍聴者に関すること」についてです。

一問一答方式については、市政に対する課題をひとつずつ取り上げ、質問、答弁を繰り返すことにより論点が整理され、審議を十分に深めることができることや、質問者と答弁者が対峙することで自然な環境でやり取りが可能となることなどから、導入することになりました。

また、傍聴者に関することについては、傍聴者の個人情報保護に配慮するため、傍聴人受付簿を廃止し、傍聴券の交付のみとすることとしました。

これらの実施時期につきましては、平成25年12月定例会から試行実施し、2回から3回程度各定例会で検証を行い、その後、本実施へ移行していく予定です。

市民の皆さん、ぜひ議会傍聴へ！

【問合せ】 議会事務局(内線303)

高齢者等要援護者の見守り協定を締結

10月10日(木)、笠間市は市内外の36事業所と「高齢者等要援護者の見守り活動への協力に関する協定」を締結しました。昨年度締結した、いばらきコープ生活協同組合・生活協同組合パルスシステム茨城・常陽銀行3支店(友部・笠間・岩間)と合わせて41事業所となりました。

この協定は、事業活動中において、高齢者等の世帯で何らかの異変に気付いた際に市へ通報していただき、早期に問題解消を図ることを目的としています。

今後ますます安否確認が必要な高齢者等が増加する中、笠間市では地域に根ざした活動をする事業所にご協力をいただき、安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。



笠間市と市内外の36事業者が見守り協定を締結

◆協力事業所一覧(H25.10.10締結)

区 分	事業所名
1	シルバー人材センター 公益社団法人 笠間市シルバー人材センター
2	日本郵便株式会社 笠間郵便局
3	日本郵便株式会社 友部郵便局
4	日本郵便株式会社 岩間郵便局
5	日本郵便株式会社 石岡郵便局
6	株式会社 筑波銀行 友部支店
7	株式会社 筑波銀行 笠間支店
8	株式会社 筑波銀行 稲田支店
9	水戸信用金庫 友部支店
10	水戸信用金庫 岩間支店
11	金融機関 結城信用金庫 友部支店
12	結城信用金庫 笠間支店
13	茨城県信用組合 友部支店
14	茨城県信用組合 笠間支店
15	茨城県信用組合 岩間支店
16	中央労働金庫 友部支店
17	農業協同組合 茨城中央農業協同組合
18	電気事業所 東京電力株式会社 下館支社

【問合せ】 高齢福祉課(内線174)

区 分	事業所名
19	宅配事業所 ヤマト運輸株式会社 笠間支店
20	ヤクルト販売店 水戸ヤクルト販売株式会社
21	明治友部ミルクセンター
22	小林宅配センター
23	岡田牛乳店
24	雪印メグミルク鯉淵販売所
25	牛乳販売店 サンミルク友部店
26	笠間ミルクセンター野村
27	明治牛乳笠間宅配センター
28	岩間ミルクセンター
29	木暮牛乳店
30	森永牛乳岩間販売所
31	(有)塩田新聞店
32	読売センター笠間(有)宮本新聞店
33	ASA友部・岩間・笠間 君羅新聞店
34	新聞販売店 有限会社 金子新聞店
35	読売センター岩間
36	稲田新聞店